

運輸関連業 C様

企業概要

社員：1700名
拠点：国内5拠点および自宅
既存製品：Fortigate

課題

- ・既存のSSL-VPN機器で運用していたID/PWのみの認証にセキュリティリスクを抱えていた。
- ・会社支給の業務用PC/スマホからのSSL-VPN接続以外に、セキュリティポリシーを無視した自宅PC及びiPhoneからの接続を多数確認していた。

導入モデル

- ・セキュアモバイルアクセスシリーズ SMA6210
- ・同時接続500ユーザライセンス
- ・CaptureATP(クラウド型サンドボックス)

導入効果

SMA6210の標準機能のみで2要素認証を実現。EPCによる接続元デバイスのセキュリティ状況チェック&CaptureATPによりマルウェア感染リスクを大幅に低減。

SMA6210でSSL-VPN接続時の多要素認証を実現 CaptureATPとの統合でトラフィック内の未知の脅威も防御

1 ユーザのなりすまし防止と危険なデバイスのアクセスを制限

ユーザのなりすまし防止の対策

- Eメールによるワンタイムパスワード
- スマホアプリによるワンタイムパスワード

危険なデバイスのアクセス制限機能

- エンドポイントコントロールによってデバイスのステータスをリアルタイムで識別し、動的にアクセスを制限

2 盲目的に信頼されていたSSL-VPNのトラフィックを検疫

SSL-VPNトラフィックはこれまで盲目的に信頼された通信としてみなされていたが、SSL-VPNを通じて脅威の横展開がリスクとして考えられるため、クラウド型のマルチエンジンサンドボックス(CaptureATP)によってそのリスクを軽減する。

3 Active Directory連携で管理者運用の負担を軽減

SMA6210ではActiveDirectoryの他に、RADIUS、LDAP、SAML2.0といった外部認証基盤との連携が可能。既存でご利用の認証基盤を利用することで、ユーザアカウントのライフサイクル運用の負担を軽減する。

